

2022年1月14日

各 位

東京都港区南青山三丁目 11 番 13 号
株式会社 TOKYO BASE
代表取締役 谷 正人
(コード番号：3415 東証一部)
問合せ先 取締役 CFO 中水 英紀
電話番号 03-6712-6842

通期連結業績予想の修正及び通期個別業績見込みと前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年1月14日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえて、2021年4月14日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想値の修正

(1) 2022年1月期通期連結業績予想数値(2021年3月1日~2022年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,880	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 840	円 銭 19.75
今回修正予想(B)	17,500	870	970	645	14.61
増減額(B-A)	△ 1,380	△ 330	△ 230	△ 195	
増減率(%)	△ 7.3	△ 27.5	△ 19.2	△ 23.2	

(注) 当社は、2021年5月26日開催の第13回定時株主総会で「定款の一部変更の件」が承認され、当連結会計年度より決算期を2月末日から1月末日に変更致しました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2021年3月1日から2022年1月31日までの11ヶ月の変則決算となります。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

2021年4月14日に公表いたしました通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であるものの、一定の前提を置いて収益の回復を見込み、業績

予想の算定をしておりました。本日開示の2022年1月期第3四半期連結累計期間の実績につきましては、10月の緊急事態宣言解除により足元は回復傾向にあるものの、第4波及び第5波による影響が長期化したことで、通期連結業績予想の売上高の達成が困難な状況であります。

販売費及び一般管理費においては、新規出店に伴う設備投資や家賃及び人件費が増加しましたが、売上高が通期連結業績予想に対して未達となる結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も通期業績予想を下回る結果となる見込みです。

これらの状況を踏まえて現段階までの実績に即した形で算出し、2021年4月14日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予測値と異なる可能性があります。

2. 通期個別業績見込みと前年実績値との差異（ご参考）

(1) 2022年1月期通期個別業績見込み（2021年3月1日~2022年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 13,997	百万円 336	百万円 349	百万円 102	円 銭 2.22
通期個別業績見込み (B)	14,800	700	800	515	11.66
増減額 (B-A)	803	364	451	413	
増減率 (%)	5.7	108.3	129.2	404.9	

(注1) 当社は、通期個別業績予想を公表していないため、通期個別業績見込みとしております。

(注2) 当社は、2021年5月26日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、当連結会計年度より決算期を2月末日から1月末日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2021年3月1日から2022年1月31日までの11ヶ月の変則決算となり、個別においても同様であります。上記前期実績は、2020年3月1日から2021年2月28日までの12ヶ月の数値であり、この数値に対する増減額及び増減率をご参考情報としております。

(注3) 上記の通期個別業績見込みは、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により業績見込みと異なる可能性があります。

以 上